

田中熱工株式会社

ねじの熱処理・表面処理・塗布加工を一貫して手掛ける

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- 試作可小ロット
- 量産対応



ねじの金属熱処理、表面処理、塗布加工を一貫して手掛ける

世界でも類を見ない ねじの一貫加工

業務内容

エマナックグループとして国内外で展開している田中熱工は、ねじの強度を調整する熱処理や鋳び・劣化を防ぐ表面処理や緩み止め等の機能を付加する塗布加工を一貫して行っている。各加工を単独で行う会社が多いが、3つの処理を一貫して行えるのは世界でも類がないという。一貫して加工することで責任の所在が明確になり、顧客の安心感にもつながっている。

同社が処理するねじは高層ビルや航空機、新幹線用の大型のものから、自動車、家電製品用の中型のもの、さらには、携帯電話等に使われる小型のものまでと実に幅広い。0番ねじ等の特殊ねじは、同社に100%依頼する会社があるほどだ。

強み 多機能な加工法を駆使して 二一ツに応える

ねじの種類は多種多様。用途に合わせた加工が求められる。「弊社はお客様がつくった製品をお預かりして附加值をつけてお返しし、それに対しても代をいただいています。そのためには、まずご要望をしっかりとお聞きしています」と田中社長が話す通り、ニーズに合わせて多彩な加工法を行えするのが強みだ。

例えば、熱処理に関しては、ねじの表面は硬く内面は粘りがある浸炭熱処理や、焼入れを行った後に高温で焼戻す調質、業界に先駆けて開発した真空窒化処理等を使い分ける。表面処理は防錆や電食等、用途に合わせた処理の

相談に応じる。塗布加工では、緩み止めや液漏れ防止ができるプリコートや、ねじ山を保護するマスキング加工と幅広く対応。中でも同社がライセンスを持つナイコートは、溶接時のスパッタや電着塗装からねじ山を保護できる。

検査にも定評がある同社は、エネルギー分散型X線分析装置(EDS)や走査型電子顕微鏡(SEM)、塩素噴霧や乾燥、湿潤等の複合試験が可能なサイクル試験機等を所有。

業界にはない充実した 検査体制で高品質を保証

品質保証

金属表面の状態を確認し、温度や炭素濃度等の熱処理条件を見極めることで精密な加工を可能にしている。品質を保証することでエンドユーザーの安心を得られると好評だ。



細かい検査も可能な走査型電子顕微鏡(SEM)

COMPANY PROFILE

田中熱工株式会社

大阪 24 ISO 9001
ISO 14001



先代である父が、昭和43年にねじの熱処理を専門に行う会社として創業しました。当時はねじの熱処理加工をする会社が少なかったため、多くの注文をいただき今日に至っています。平成14年に私が引き継ぎました。これだけの加工ができるところは他にないと思いますよ。今後も技術力を高めていきたいと考えています。

答えはお客様がお持ちのはず。いかにしてお客様の意(声)を聞くか、それが大切です。

代表取締役社長 田中 良典さん



■主な事業内容

ねじ等の金属締結部品への熱処理・表面・塗布加工等

■主な取引先(納入先)

金属製締結部品メーカー、商社、金型・工具類メーカー等

住所 / 〒570-0043

守口市南寺方東通
4-24-8

T E L / 06-6993-0101

F A X / 06-6991-0010

創業 / 昭和43年11月

設立 / 昭和48年5月

資本金 / 3,500万円

従業員 / 92名